

## 産業建設常任委員会 意見交換会報告

それでは、去る11月30日開催の白山市経済団体連絡協議会との意見交換会について、その概要を報告します。

当日は白山市経済団体連絡協議会の高松会長をはじめ、18名の役員並びに事務局の皆様が出席され、「白山市における経済界を取り巻く課題について」というテーマで、意見交換をしました。

白山市経済団体連絡協議会は白山商工会議所、美川商工会、鶴来商工会、白山商工会で組織され、産業振興のほか、地域経済の発展向上に努めています。

それでは、今回の意見交換会で出された主な意見を述べさせていただきます。

1点目、道の駅めぐみ白山についてであります。白山商工会議所が何年か前に提言した新たな道の駅が実現され、また、運営主体であります第三セクター、株式会社めぐみ白山への出資により、オール白山体制で商工会議所、商工会が一緒になり歩むことができ、ありがたいという御意見をいただいた反面、開業まで半年を切った中、状況等の情報が入ってこないため、こんな短い期間で本当に間に合うのか不安だという御意見をいただきました。また、商工会議所、商工会会員から地場産品売場への出品希望を早くから出しているが、一向に返事が来ないので、早くいただきたい、また、意見交換会の翌日に開催されたようですが、取締役会を開催するのが遅すぎるのではないか、という御意見もいただきました。

委員からは、開業までの時間があまりない中、経済団体の皆さんと一緒に取り組んでいきたい、また、方向性を間違えないよう行政、商工団体が趣旨をもう一度理解した上で、道の駅めぐみ白山がすばらしい道の駅になるよう努めていかなければならないという意見がありました。

2点目、白山総合車両所等を活用した地域振興についてであります。6月末

に白山商工会議所より市のほうへ提言書の提出があり、白山総合車両所1カ所だけではなく、在来線の金沢総合車両所、そして道の駅めぐみ白山の3点をつなぎ、地元商店街等を含めた面で展開できないかということで、6項目の提言をいただきました。また、現在「鉄道のまち」をメインとした提言をまとめているところであり、鉄道音楽会や鉄道アート展などのイベントを行うことで「鉄道のまち白山」をPRし、商工会議所のメンバーも含めて活動していければというお話があり、そのためには、行政とのいろんなタイアップも必要だという御意見をいただきました。

委員からは、先般、自由民主党の新幹線車両所の活用による観光・産業振興PTにおいて、市よりビジターセンター等の設置などの提案を行ったことを踏まえ、今後も市一丸となって、白山総合車両所等を活用した新たな観光・産業などの地域振興策の実現に全力で取り組んでいく必要があるほか、白山市内の商工会議所、商工会の連携と、さらには能美市、野々市市、川北町の商工会とも連携し、広域の観光・産業振興にも努めてほしいとの意見がありました。

本委員会として、本市の観光・産業振興などをさらに進展させていくためには、白山商工会議所、各商工会が緊密に連携して、魅力ある事業を推し進め、地域におけるリーダーシップを発揮していただくとともに、行政側として、経済団体とのタイアップや、効果的なバックアップをする必要があると考えます。今後も経済団体と行政が手を携え、魅力ある白山市になるよう、さまざまな課題に取り組んでいただきたいと思います。

最後に、道の駅めぐみ白山について、執行部においては今ほど述べました、商工団体からの御意見を真摯に受け止め、円滑な運営に努められますよう申し上げます。